

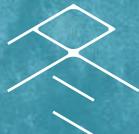
葉っぴい向島園 季節のご案内

Happy Letter

葉っぴいレター | 立冬、山茶花が咲き始め

畑のお茶たちも冬支度に入ります

2015



年末年始の
ご案内



お歳暮
お年賀
予約承ります。

小春日和の今日この頃 Merry Christmas!
皆様いかにお過ごしでしょうか
日頃より、当園にご愛顧頂き
ありがとうございます。



禅の言葉に「喫茶去」とい
言葉があります。
いつでも、誰にでも「お茶を召し上がれ」とい
意味が込められています。

お茶は
心をつなぐ

あつ森がおいしいお茶の美味しい季節
「喫茶去」"お茶をどうぞ"

是非、そんな人と人の触れ合いを
楽しんでいただければ幸いです。
今年も、お茶を通じて
多くのご縁を頂き感謝申し上げます。



2015 冬
お年賀



心から「ほっ」とできる 安心・安全なお茶作り農家

当園は、33年間完全有機栽培（無農薬・無化学肥料）でお茶の栽培加工販売を一貫して行わせて
頂いております。2000年に有機JAS法が制定され、有機認定を取得していないと有機栽培茶と商品
に記載できなくなった為、有機認定をお茶部門で日本で一番最初に取得しました。

お客様とお話していると、有機認定された農園がつくる有機栽培茶＝無農薬栽培茶だと思われて
いる方が多いと感じます。有機認定の規定の中には、使用しても良い登録農薬があり、無農薬栽培で
はありません。また、遺伝子組換え肥料も使用許可された物もあり、お客様の安心の認識とは少しずれが
あるようです。

当園では、自然・地球と人間など様々な絆の結び直し架け橋を目指して、法律の枠を超え安心・安全な
お茶作りに取り組んでいます。よって、完全有機栽培（無農薬・無化学肥料）と表現させて頂いており
ます。毎年、全ロット残留農薬検査を400項目以上行い、確かな安全を確認しています。



平成26年度に収穫された茶葉の
残留農薬検査の結果「適合」と
なりました。平成27年度の検査
結果はホームページで公開予定です。

より良いお茶作りのために。J-GAP 認証を取得しました！



J-GAP 認証とは、Japan Good Agricultural Practice (日本の良い農業のやり方) の略で、
「食の安全」や「環境保全」に取り組んでいることが、第三者機関の審査により確認された農場に与
えられる認証です。

また、農林水産省が推奨する、世界的にも高い評価を得ている日本の標準的な農業生産工程管理
手法で、農場版HACCP(ハサップ)とされています。

向島園園主と一緒に
お茶のはなしで
盛りあがろう！

葉っぴい向島園 お茶を楽しむ Workshop

『お茶摘みツアー 2015』



最初にお茶の摘み方をレクチャー。
お茶についてのうちく等をお話
します。



みんなで楽しくお茶摘みスタート！



摘みとった茶葉を自分で揉んで紅茶
をつくりました。



工場内も見学。お茶が出来る工程を
順を追って説明しています。



最後にみんな揃って記念撮影！今年
も笑顔いっぱいの楽しいお茶摘み
ツアーでした。

そんな自然の中でひたむきに、おおらかに育った向島園のお茶。このメッセージと共に、ご賞味頂いたら幸いです😊
本年も、ご愛顧頂きまして、誠にありがとうございました。年末年始のご挨拶とさせていただきます。

自然の中で生き、自然に教えてもらう。これ以上の教育は無いのではないかと最近あらためて感じます。それは何故なんだろうと考えると、自然ほど「生きるために生きていく」ものは無いからだと思います。
方と、草を根っこから根こそぎ抜いて、その根が根付くのを防止する取り方です。時期や状態によって取り分けるのですが、お茶の樹の上の草だけを取る方法だと、すぐにまた草が伸びてきてしまい、取り残した下の部分の草は、よりパワーアップして生きてきます。なので、見える部分だけの草取りをしていると、最後には強力な雑草の根っこが形成され取り返しのつかない茶園になってしまうこととなりますので、根付く前に、根っこから草を取ることは非常に大切です。何でもそうですが、根幹となる部分にアプローチしなければ、結局は何も変わらないということ、今年の草取りをもって改めて痛感しました。

お茶を無農薬で栽培させて頂くにあたり、いくつか大変な作業があり、今回はその大変な作業のうちのひとつ、「草取り」から学んだことを少しお話ししたいと思います。
茶畑には、様々な草が生えます。それは季節によっての変化や、風に乗って新しい種が飛んでくる等、まさに有機的活動を繰り返しています。そんな草の成長を見ていることも面白いのですが、お茶を栽培する過程では、あまり草があるとお茶の樹が阻害されてしまう為、草取りをしなければなりません。その草取りの仕方にも、いくつかの方法・強度があり、お茶の樹より高く飛び出た部分の草を取って、日当たりだけよくする取り

今年も冷夏になると予想されていましたが、期待を裏切り十分暑い夏になりましたね。この冷夏情報は、真夏に畑で作業する者としてはとても気が楽になる情報だったので、その情報が一変して猛暑日が続くと、通常以上に暑さを感じてしまいます。僕が就農する前までは、日中物凄く暑くなる、必ずと言っていいほど夕立があったのですが、最近、特に今年は夕立もあまりなく、照りが長期間続いたことからお茶たちも喉がカラカラ状態でした。そうかと思えば、9月に入ってから中旬まで、長く雨が続きませんでした。お茶の為に、週に一度しとしたりとした土に染み込むやさしい雨が降ってほしいところでしたが、やはり自然の流れは年々変化しているようです。こうした雨に限ったことではなく、天候、四季、はたまた人間関係など、地球上の様々な現象や関わりが、まるでスイッチのON・OFFのように、移り変わりの過程を感じない環境に変わってきている気がします。

木木 のなかの 茶畑から

こんにちは
葉っぴい向島園園主 向島和詞です。
いつも当園のお茶をご愛飲して頂きまして、誠にありがとうございます。



むこうじま かずと
1985年生まれ。小さい頃からお茶好きで、
毎日畑のお手伝いが日課の幼少時代。
幼稚園の時の夢は「茶刈機屋さん」になること。
18歳の時に父亡き後の向島園園主となる。
平成21年 最年少青年農業士に認定され、
究極の有機栽培茶の栽培製造販売に取り組む。
ワークショップや講演活動も行っている。
口癖は「全てはうまくいっている！」



おいしく
お茶を
召し上がれ

お茶事 の よろこび

澄んだ空気に包まれて、あたたかいお茶のおいしい季節になりました。
みんなの仕事がひと段落して、「さあ、お茶にしようかー」
急須にお湯をそそぐ音、あふれる湯気にお茶の甘くて青い
香りを感じる瞬間、寒さでギュッと詰まった肩の力がふーっ
と抜けていきます。
テーブルにお気に入りの器と茶托、お菓子も用意して。
丁寧にお茶を淹れていると自然と気持ちも優しくなっ
て「おいしくなあれ」と心が込めます。
天気の良い日は、暖かなお日様の下でお茶会も素敵ですね！



さむーい朝に

荳茶

荳茶には、旨味と甘みの成分であるテアニンが、何と葉っぱの2倍も含まれています。緑茶の中でも陽性に近く、身体を冷やしくいので寒い冬にもピッタリ。
パチッと眼を覚ました朝は荳茶を濃いめに淹れて、緑茶のさわやかな香りと甘みをお楽しみください。

お友達をよんで

カモミール入り 玄米茶

優れた効能を持つカモミールは、平滑筋という筋肉の組織を落ち着かせる作用があり、心身ともにリラックスさせる効果があります。
花粉症や鼻づまり、冷え性も改善するので、一年中おいしく頂けるお茶です。
リンゴのような甘い香りに玄米茶の香ばしさがベストマッチして、みんなの驚く笑顔と、おしゃべりが弾むのも嬉しいです。

今日も一日おつかれさま

極上三年番茶

直火焙煎の穏やかな香ばしさと、まろやかな甘みの三年番茶。低カフェインで刺激物をあまり含まないので胃に負担をかけません。
また、秋から冬にかけてはお茶がミネラルを最も多く持っている時期なので、その時期に収穫する番茶は栄養満点。身体想いの優しい一服が、指先までぽかぽかにしてくれます。



缶入り 50g ¥820(税抜) 80g ¥700(税抜)



缶入り 35g ¥940(税抜) 50g ¥800(税抜)

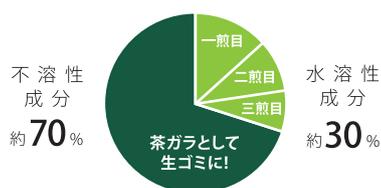


缶入り 50g ¥570(税抜) 150g ¥800(税抜)

お茶の成分をまるごと食べる！ 粉末茶のチカラ

緑茶に含まれる主な有効成分は、「カテキン・テアニン・カフェイン・ビタミンC」などです。健康維持に役立つこれらの成分は、高血圧や糖尿病などの生活習慣病や、がん予防、また抗菌・殺菌作用の効果があることが、最近の研究で明らかになってきました。

しかし、お茶の栄養には不溶性（水に溶けない）のものが多く、急須で淹れた場合、約7割の栄養が



急須で淹れた場合の成分割合

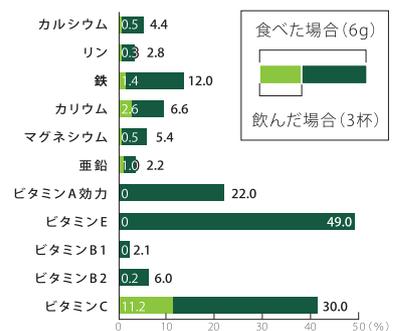
茶殻に残ってしまいます。

茶殻の中には「カルシウム・鉄分・ビタミンE・β-カロテン・ミネラル分」など、日常の食事ではなかなかバランスよく摂取しにくい微量栄養素が多く含まれています。

粉末緑茶なら、そのまま溶かして飲むだけで、まるごとお茶の栄養を100%摂取することができます。

粉末玄米茶なら、絶妙なバランスでブレンドしたお米とお茶の栄養をいただけます。

また、当園のお茶は、農薬や化学肥料を一切使用せず、お茶も**特別な栽培方法(植物にストレスをかける1本仕立て)**で育てているため、従来のお茶に比べ、デトックスや活性酸素除去効果があるといわれるSODがなんと**約4倍以上**もあり、



微量栄養素摂取量の比較

花粉症をやわらげる効果があるといわれるカテキン類も、**約13倍**も入っています。

おいしくて安心・安全で体に良いお茶を楽しく飲んでいただきたいと思います。

昔から**養生の仙薬**といわれるお茶のパワー！是非、お試しください。

茶あ生 樹ふ命 れ力 る

『向島園の一本仕立て』

先代園主が完全有機栽培（無農薬・無化学肥料）でお茶の栽培をするため、試行錯誤の結果産み出された栽培方法が「一本仕立て」です。昭和57年、従来の農法に疑問を感じ、先代園主が自然との共存を考えたのですが、今まで使用していた農薬や化学肥料を断ち切ると、お茶の木の樹勢は落ち、収穫が困

難な状況が何年か続きました。その頃は、お茶は農薬無くして栽培できないと言われており、どうしたら有機栽培でお茶の栽培ができるか試行錯誤の日々でした。

歴史をたどってみると、お茶は平安初期（815年）中国から仙臺として日本に伝わりました。農薬や化学肥料が日本で多様に使用し始められたのは戦後からなので、戦前は無農薬でお茶の栽培ができていたことに気付き、その栽培方法を見習えば、無農薬でもお茶の栽培ができるのではないかと考えました。

昔は、お茶の木は実生で増やしていましたが、お茶は自家受粉しないため同じ品種を育てようとすると挿し木でしか育てられません。しかし、挿し木栽培にするという



向島園の茶樹（1本仕立て）

ずっしりと成長し、幹がしっかりと出来上がった茶樹はひとの腕より太いんです。幹を切ると年輪が見え、根は4~8mほど地下に伸びるため、生命力が強いです。



一般的な茶樹

密植され幹になりきれず盆栽化した茶樹は、枝を切っても年輪が見えません。根は50cm~1mしか地下に伸びないため、生命力が弱いのです。

ことは、クローン栽培をしていることに近く、実で植えた茶木と挿し木で植えた茶木を比較すると、特に成園になってから生命力に大きな差が生じました。また、植えてから収穫まで7年という長い年月を要するため、出来るだけ苗を密植することが戦後の茶の栽培方法として一般的でした。しかし、苗を密植すると根張りが弱くなったり、物理的環境の悪化（風通し悪化など）によるストレスがかかり、これもまた生命力低下につながります。生命力低下が引き起こすものは、病気や不調です。だから農薬・化学肥料が必要だったのです。

農薬・化学肥料を使用しなくとも、病気知らずの生命力ある茶木を育てるのなら、戦前の栽培方法にのっとり、実生で疎植すること、そして大きく育つまで剪定しないことがベストです。（在来茶）

しかしながら、お茶の品種を一区画の畑で一定に保つには挿し木で増やす以外方法はないことに変わりありません。その為、先代園主は、

挿し木栽培をしたとしても実生に出来るだけ近い栽培方法を取ろうと考え、挿し木を極限の小ささである一節一葉から始め、疎植にして太い幹を作る一本仕立て栽培を考案しました。育苗施設で育てるのではなく、自然の畑の真ん中に葉っぱ一枚挿していくので、途中で強い風雨に見舞われれば振り出しに戻り、鳥に葉っぱを啄まれればまた振り出しに戻る。それを何度も繰り返して、15年の歳月を経て、ようやく一本仕立ての栽培方法を確立しました。



一本仕立て栽培された茶木は、通常栽培の茶木と比べ幹の太さは10倍以上あり、根も4倍以上伸びます。よって、非常に生命力あふれた茶樹へと成長して本来のお茶の力を発揮してくれます。栄養価や抗酸化力も高く、中国で金不換と言われ、弘法大師には養生の仙薬と言われたお茶のパワーを最大限に引き出して、お茶本来の生き方を尊重する栽培方法。それが「一本仕立て」栽培です。



先代園主 向島和光

葉っぴイ向島園のご紹介

園主 向島 和詞
むこうじまかずと



五月 お茶摘みの様子(当園裏山にて撮影)

私は今、完全有機栽培(無農薬・無化学肥料)で、お茶の栽培・製造・販売をさせて頂いております。

現在の農業界では、化学肥料、農薬使用による栽培方法が大部分を占めております。

では、何故、無農薬・無化学肥料という栽培方法を取っているのでしょうか。

一人の人間が生きるには、どれだけの物が介在しているのでしょうか？

まず生きてゆくには食べ物が必要です。そして衣類・住宅等…。ただ一人の人間が生きてゆくだけでとても沢山の物との関わりを持たなければなりません。ではその物の存在、維持というものはどのように行われているのでしょうか。

今、この地球上にはとても多くの生物(植物・動物・人間も含む)が生存しています。

そんな中、たとえば、植物・動物の関係。植物は動物の呼吸により出された二酸化炭素を吸収して生命を維持しております。又、動物は植物の出した酸素により呼吸し、生きております。現実的には、地上にあるものすべて二つ二つが自然の仕組みの中では掛け替えのない役割を担っているのではないのでしょうか。確かに農薬・化学肥料はある

忘れていた生命の一体感

ある本に、次のような話が載っていました。

『わたしは沖縄の先島さきしまと呼ばれる離島で、しばらく生活していた島の人たちが持つている自然観ぜんくわんというものを学びました。これは、もしかしたら、今日の社会のひずみを直すカギになるのではないかと思える自然観です。それはひと言でいうと、生命の一体感ということでした。

生命というのはバラバラに成立しているものではなくて一体のものとしてあるのだという考え方です。

ある時、わたしはフィリピンの、ミンドロ島付近に散在している島へ行きました。文明といえば、携帯ラジオがあるくらいで、むろん電気もないところでした。わたしたちが行くとき、日本人はエビやカニが好きだということを知っていて、海に潜ってイシガニいしがにというのをとってきてくれた。それから、ボイルするために台所へ行ったのですが、すぐに帰ってきて「たいへん申しわけないが、今晩はカニをこちそうできない。このカニは、今抱卵ほうらんしているので海に帰してやる」と言う。

それを聞いたとき、わたしたちはまともに顔を上げることができな

面から見ればとても妥当な方法だと思われれます。

しかし、生命の次元で観た場合には大きな輪としてつながっているそれぞれの命の流れを途中で絶ち切る事になるのです。

そしてそれがどのような結果を産み出すのでしょうか？

人間は自分の体の調子が悪くなれば、自分で悪い条件を取り除き、健康な体に戻そうと努力します。でも、地球上でそのような事ができるのは人間だけなのです。

山の木々が健康を害するような環境になってきたから、もつと条件の良い場所に移ろうと思っても、決して出来る訳ではありません。人間以外の生物の生存は、ある意味で総て人間に委ねられているのです。同じ地球を構成する生きものなのに、「何をしてもかまわない」正しさの基準を人間中心に定めて良いものなのでしょうか？



本当に大切だったものはなんだったのでしょうか？

今、私達に求められているものは、命の次元で物事を観てゆくことなのではないでしょうか。そして、生あるもの総ては、単独で生み出されているのでは無く、みな一つの輪としてつながっていることを思いだし、今まで、私達人間が断ち切ってきた輪を、元の状態に戻すことが、なによりも大切なことではないのでしょうか？

昭和57年より無農薬・無化学肥料による完全有機栽培に取り組んできました。

最初の頃は農薬や化学肥料の影響で、茶木の生命力も弱く、ほとんど収穫することが、出来ませんでした。

やっと以前の収穫量に戻ったのは六年目でした。その喜びは今でも覚えています。

お茶の葉の一枚一枚の力を十分引き出し、皆様にお茶を通して自然からのメッセージをお届けできたらと願っています。

尚、大切に収穫したお茶は裏山から湧き出る清水で蒸し、心をこめて仕上げ、お届けさせて頂いております。





食をテーマとした人気作品

“美味しんぼ”

葉っパイ向島園が
掲載されました。

上煎茶
¥1,500 (税抜)
80g入り



『美味しんぼ 101巻 -食の安全-』

原作 雁屋哲 作画 花咲アキラ 小学館
添加物・農薬・家畜飼料の抗生物質…
現代の食が抱える問題を一挙解決!



『THE 美味しん本 オフィシャルブック
海原雄山 至高の極意編』

美味しんぼ特別編集チーム著 遊幻舎
公式ガイド・初刊行!! 美味しんぼに登場した
料理店・食材の徹底ガイド



白井田七。茶
お茶と田七人参の
運命の出会い

白井田七。茶
¥3,314[税抜] 30包入り

田七人参もお茶も様々な効果を持つ仙薬です。しかし、現在一般に流通している物は促成栽培された結果、本来の効果を失ってしまいました。白井さんとの出会い、それは同じ本質を見極めた農業をしている農家でした。本来ある植物の力

を100%引き出せる栽培をする事。それによって生まれた、本物の田七人参と茶葉のコラボ商品です。
*当園では直接販売は致しませんので、ご興味ある方は以下にお問い合わせ下さい。HPで詳しく説明しています。

【お問い合わせ】さくらの森 TEL 0120-842-555 【営業時間 月～金 9:00～20:00 土 9:00～18:00】(日・祝日は休み) HPは“白井田七。茶で”検索



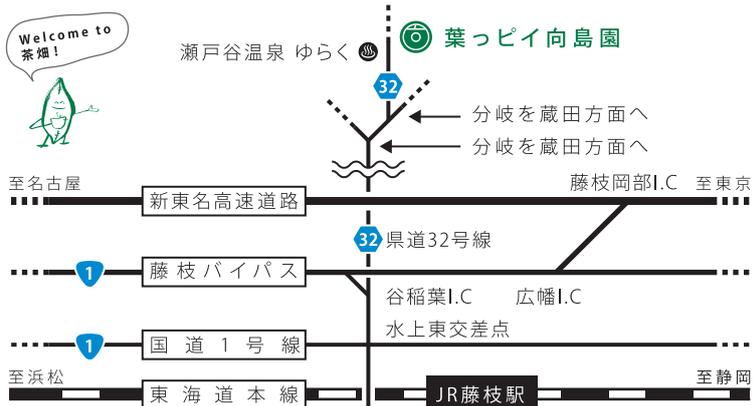
農業生産法人

葉っパイ向島園株式会社

代表・園主 向島和詞 むこうじま かずと

【お問い合わせ】

- TEL 054-639-0514【受付時間 午前9:00～午後6:00】
- FAX 054-639-0574【24時間受付】
- E-mail info@mukoujimaen.jp
- HP http://www.mukoujimaen.jp/
- 定休日 年中無休(不定期 ホームページで予定を公開します。)
- 所在地 〒426-0131 静岡県藤枝市瀬戸ノ谷5077番地



・JR藤枝駅より車で約30分・東名高速道路でお越しの方は、新東名藤枝岡部ICで降りた後、広幡ICで藤枝バイパスへ。谷稲葉ICで降り、信号を左折後道なりに約15分※留守の場合があります。お手数ですが、ご来園の際は予めご連絡ください

向島園 で 検索

ホームページで情報発信中!